



大阪市立大学全学同窓会静岡支部第7回総会報告

2023年11月26日、静岡市内で本部一般社団法人事務局長世瀬義久様、大学事務局渉外課長北橋和也様のご臨席を得て総会を開催し、その後懇親会を持ちました。お二人を除いて支部参加者は13名ですが、ほぼ半数が役員外の一般会員で所期の目的は達成できたと思います。この一年間の支部の活動と財政の確認を行い、次年度の取り組みの展望と予算の確認を行いました。経過から会員のライブへの参加と懇親会、以前にも試みたたこ焼きパーティーでの懇親会等の取り組みを確認しました。今後もいくつかの取り組みを考えてゆくと共に、本部の取り組みへの協力などを図ってゆくこととしました。また次年度(2023年度)の新役員を確認しました。

お互いの近況を含めた自己紹介の機会を持ち、特に若手の会員へのアプローチが必要だと実感させられました。とくに大学統合後の経過と課題の説明を先のお二人から戴き、活発な質疑をかわしました。総会後の懇親会は本部からのお二人のご参加を得て、和気あいあいの情報交換や懇親をさらに深められたと思います。東西間の距離が大きいので、オンラインと対面のハイブリッドによる役員会の開催を今後とも行うこととし、機動性を高めます。

(支部長山本義彦)

【2023年度 役員】

山本 義彦 経昭42/院昭48 支部長(中部)
 細川 俊仁 工院平1 幹事 副支部長(東部)
 大場 正春 理昭51 幹事 副支部長(西部)
 海野 典子 生昭55 幹事・会計(中部)
 細川 久美子 法昭62 幹事・会計(東部)
 伊藤 みどり 法昭62 幹事・ニュース担当(東部)
 玉置 勝敏 工昭62 幹事(西部)

監査役: 筒井 浩貴 経平22 (西部) 久住 治彦 商昭44 (中部)



復活! たこ焼きパーティー

2023年10月22日(日)、静岡支部恒例の「たこ焼きパーティー」交流会を開催しました。2019年以降のコロナ禍を経て、今回は実に5年ぶりの開催となりました。会場は静岡市内在住の会員様のご厚意で提供頂いた某所。参加人数は6名と少人数でしたが、全員が飲み物や



お酒、食べ物を持ち寄って、メインのたこ焼きは皆で作るというスタイルは前回のまま、和気あいあいとしたパーティーとなりました。現役を退職後も新たな分野での仕事と花づくりを頑張ってるMさん、仕事はもちろんご趣味の写真撮影にも精を出されているSさん、これまでの事業を継承して新たな業界に挑戦されるIさんなど、お話を伺っていてワクワクすることばかりですごく元気を頂くことができました。今後もこのような交流会を企画していきたく思いますので、支部会員の皆さま、ぜひご参加ください。



文学部英文化 昭33年卒

坂東芳朗氏(静岡市)

英文科卒を名乗っていますが、実際は英文科より映像化にのめり込み映画三昧の4年間でした。入学と同時に、高校(大阪市内)には無かった映画研究会という部活の門を叩き、教室よりも部室に入りびたり、映画を観て論を吐くという何ともイージーな部活に酔いしれていたのです。

映画の割引券を売るという活動もあり、見返りに新作の試写会の招待状が届き、エリート気分です。試写室に出入りしたり、映画館にフリーパスという特典もありました。

就職は映画関係を目指しましたが門戸は厳しく、それではと広告代理店で名古屋に本社を置く三晃社大阪支社に席を得ました。映画で得た知識を生かして、商業フィルムの制作を担当。昭和47年、突然に静岡支社への転勤の命が下り、家族ぐるみで静岡に足を踏み入れました。静岡では、はごろもフーズさんのシーキンやメチャ安のサイトーなどを担当させて頂きました。

フィルムで繋いだ商業三昧で今度は40年、造ったCMは100本を超えると思われます。沢山の芸能人のお付き合いもできました。そして今度は大阪市立大学のOB会静岡支部の設立で50年ぶりぐらいにあの杉本町を訪れることが出来ました。あゝ・・・

私たちの静岡支部、これからどう成長していくのでしょうか。

商学部 昭43年卒

久住 治彦氏(静岡市)

昭和40年4月に市大入学式に出席し、教室に移動してまもなくすると、学生運動家田宮高磨氏(後によど号ハイジャック事件を引き起こす)が入室し、演説が始まり、クラス全員がキョトンとし、ビックリしたのが大学生活のスタートでした。卒業式も講堂を学生運動グループに占拠され、校庭でゼミの教授から卒業証書を受領するという、学生運動が活発な時期に大学での4年間の生活が終了しました。クラブ活動は最初ヨット部に所属しましたが、艇庫が二色浜にあり、部員は通常そこで寝泊りして合宿し、出席が必要な科目の時に杉本町校舎に登校する生活が主で有った為、4年間で卒業出来る自信が無く、残念ながら早々に退部しました。就職後もヨット部の仲間とは親交があり、今でも蓼科、伊豆高原等でゴルフをしたり、北海道周遊するヨットでのクルージングに同乗させてもらったり、イタリアの街を案内してもらったり等がありました。就職は、日経の「私の履歴書」にニッカウキスキー創業者「竹鶴正孝」社長が掲載されていたのを読み、おもしろそうな会社だと思っておりましたが、就職活動が始まり、ニッカウキスキー社より学生課に募集案内が有り、学校推薦を頂き、何とか入社に至りました。面接では酒(アルコール)に強いかどうかの質問は一切無く、後々営業で酒に弱い体質に苦しめられることになりました。入社後最初の勤務地は北海道(旭川、富良野、滝川、名寄、稚内等を担当)で稚内は札幌から車で(鉄道でも)3時間程掛かり、吹雪の中でも車で移動する営業を5年間経験し、静岡出張所開設により静岡に転勤、約3年間県の東部地区担当し計8年間営業、その後経理(財務)8年、北海道支社総務6年、本社営業部等様々な業務を経験し、60才で定年(2005年)を迎え、退職後は生まれ故郷の静岡に終の住処を構えました。定年後、市が提供する「男の料理教室」「そば打ち教室」等に積極的に参加し、それなりに家事にも貢献しております。「ウクレレ教室」はなんとなく受講し、終了後に受講したメンバー達が集まり、「ウクレレ同好会」(チーム名:トロピカルズ)を結成しました。練習の成果を披露する場を探し、介護施設、老人ホーム、各町内会が運営する敬老会等々、演奏ボランティアの活動を15年程行いました。多い年は年間50回も行いましたが、昨年メンバーの高齢化(平均年齢79才)による故障者が増え、車移動が多いため、交通事故の心配等を考慮し、今年3月末にてグループの解散を決めました。今後体力、知力(認知機能)の低下が心配ですが、運動の為と称した月一ゴルフを続けたり、コロナで中断している海外旅行を再開(懐具合が許せば)出来ればと願っております。これまでの人生良いこと悪いこと色々ありましたが、お付き合い頂いた多くの方々に、助けて頂いたこと感謝の気持ちで一杯です。